平成２８年（２０１６年）３月８日

報道機関各位

クレジットカードの不正使用防止対策とＩＣ化の取組み状況について

一般社団法人日本クレジット協会

一般社団法人日本クレジット協会（会長　杉本　直栄）では、クレジットカードの「安心・安全」な取引環境を確保するため、ネット取引における本人認証の推進やクレジットカード情報の流出を防ぐためのカード情報管理強化策の推進など様々な不正使用防止策を講じております。

この一環としてクレジットカードのＩＣ化率を「2016 年 12 月末までに 80%とする」「2020 年 3 月末までに 100%を目指す」という目標を掲げ、業界を挙げて推進に努めております。

2015 年 12 月末時点で、クレジットカードのＩＣ化の進捗状況を調べたところ、協会加盟のカード会社 237 社の総発行枚数に占めるクレジットカードのＩＣ化の割合は 68.2%となりました。各社のＩＣカード化率については、ＩＣカード化を 80%達成している会社が 173 社、そのうち 100%達成している会社が 75 社でした。

今後も同様の調査を年 1 回定期的に実施し、クレジット業界の取組み状況について広くご理解いただきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

※ 調査に係る注釈

(1) 調査の実施主体：(一社)日本クレジット協会

(2) 調査対象会社：協会加盟しているカード会社のうち対象カードを発行している 237 社

(3) 調査対象とするクレジットカード：国際基準である「ＥＭＶ仕様」の接触型及び非接触型ＩＣチップを搭載したクレジットカード。

〇本件問い合わせ先
一般社団法人日本クレジット協会　業務企画部
〒103-0016　中央区日本橋小網町 14 番 1 号　住生日本橋小網町ビル
TEL　０３－５６４３－００１１

以上

投稿先：東商記者クラブ・日銀記者クラブ